



J・A・C
(第 11 号)

千葉支部だより

発行者 篠崎仁
編集者 結城純一

日本山岳会千葉支部 第3回通常総会報告 & 三舟山記念山行(138m)



(記念山行 三舟山頂上より)

今回は定例の記念講演会は、総会前に会友である千葉市長の熊谷俊人氏により行われました。

★講演内容 演題「山登りと私」

多忙で不規則な会社員生活によるストレス等で心身とも疲れ果てた時に友人に誘われて登った山の頂上で、その圧倒的な自然の雄大さに魅了されそしていやされ元気を回復した。振り返ると、会社員をやめ政治家になる決心をした際、今回の千葉市長選挙に立候補を決意した際、人生の節目節目の重要な決断をする時にいずれも山に登っている。自分を客観的に見ることをできるのが山登りである。これからも何か大事な決

断をするときには山に行くであろう。



講演会終了後に休憩を挟んで、定刻どおり総会は開会。司会担当の諏訪より、3月末日での有権会員数103名、うち本総会出

席者は下記の32名、委任状による出席43名、合計出席人数75名であり、規約に定める定足数(会員数の三分の一、35名)を満たし本総会が有効に成立したことを確認しました。その上で、規約第8条に基づき、支部長篠崎仁が議長となり、別紙の各議案を逐次検討しましたが、いずれも原案通り満場一致で可決されました。

また、当日は支部会員で山岳会評議員である前千葉県知事の堂本暁子氏も出席、地球温暖化の影響が与える地球環境の悪化、生物多様性保全についての話がありました。

その後の懇親会は例年通り、皆さん大いに飲み、時を忘れて楽しく歓談しました。



(諏訪吉春)

総会出席者名(敬称略、順不同)；

青木一夫、赤井一隆、岩尾富士夫、岡野修、小沢けい子、小疇尚、小坂橋志朗、後藤三男、小林康浩、桜田直克、佐藤明夫、坂上光恵、塩澤厚、篠崎仁、鈴木美代、諏訪吉春、高橋隆一、高橋正彦、津田麗子、堂本暁子、豊倉さと子、永井わか子、日色健人、平山善吉、増山茂、三木雄三、南井英弘、柳下忠義、山口文嗣、結城純一、吉江光善、渡邊信一、

以上32名。

★千葉支部総会記念山行 三舟山(138m)山行報告

前日の5月15日(土)2010年第3回通常総会が開催された。翌16日総会記念山行として三舟山山行が実施された。君津駅に10時集合で15名が参加。10時10分、君津駅から房総往還(江戸時代に江戸から現在の館山市に至る古道)を辿りながら一路三舟山山頂を目指しスタート。初夏の様な少々暑い日差しの中、左奥に三舟山山頂を見ながら小糸川を渡る。いよいよ三舟山への入り口に、地域の方が作ってくれた杖が何本もあり、我々も何本か借りた。竹林、麦畑などのどかな里山をのんびり歩いて行く。途中小休止を取った後、マテバシイがトンネル状になった道を進んで行く。このマテバシイの林は見事であった。この三舟山付近は合戦の舞台でもあったとかでこのマテバシイの林一帯に陣を構えて

いたとの事。その跡と思われる溝が林の中に見られた。また、古道の面影を忍ばせてくれる石造りの道案内に出会った。江戸の昔からこの道を木更津、佐貫方面へと人々が通過して行ったのだな、と何か懐かしさを感じながら私達も通過した。



しばらく歩くと広場に出た。殆ど高低差がなかったがここが山頂のようだ。ここまで来たら家族連れなども登ってきていて、手軽なハイキングコースとなっている。さらに歩いていくと木造作りの展望台があり、

ぐらぐら揺れるような展望台に登って行くと、君津市街や東京湾の眺望を楽しむことが出来た。約2時間の道程であった。この展望台の下で東京湾を眺めながら昼食を取り、全員で記念撮影して下山した。この三舟山はサクラ小径、アジサイ小径、ミツバツツジ小径など樹木を植えて整備し、四季折々楽しめるようになっている。今回はウ

ツギ、ヤマツツジ等が見られただけで残念ながら小径の花には出会えなかった。下山後ダム湖まで歩き、田んぼにいたおたまじやくし等を見ながら君津駅まで戻った。約4時間の行程で結構歩きが良かった。

(豊倉さと子)

参加者：大浦陽子、金子有美子、佐藤明夫、塩澤 厚、杉本正夫、高橋琢子、竹島正義、田代貴征、津田麗子、三木雄三、柳下忠義、結城純一、渡邊信一、渡邊すみ子、豊倉さと子
以上 15 名

第3回 支部通常総会あいさつ

支部長 篠崎 仁

2007年に支部を設立してから満3年を迎えることができました。なんとか支部の基盤もできあがって参りました。「より楽しいより豊かなJACクラブライフを目指し、新しい出会いの場を作る」ことを理念として活動を展開してきました。まだまだ至らぬ点も多々ありますが皆さまにご意見を寄せていただき活動の充実を図っていきたくと思います。

日本山岳会は今多くの重い課題を抱えています。とくに会員数の減少は、このまま放っておけば会の力は衰えいずれ会は消滅するという事にもなりかねません。尾上会長はJACの活性化そしてかつては日本の山岳界をリードしてきたリーダーシップを再生・復権するために4つのプロジェクトチームを立ちあげました。①若者対策としての活動②法人改革の検討③山の日制定運動そして④支部の活性化です。

千葉支部は、設立以来先ずは会員同士の親睦、会員同士が仲良くなることを活動の第一義としてきましたが、4年目を迎えるにあたり、支部活動を通じての山岳会の活性化、さらには公益的な活動にも力を注いで

いきたくと考えております。

2009度の活動実績の一つとして、房総半島分水嶺踏査活動があります。この構想は会設立の時から持っておりましたが、ようやく実行に移すことができました。新聞各紙も強い関心を持って取り上げてくれ、昨年10月の第1回踏査には100名近い参加者がありました。ヤブ漕ぎの難コースが多いのですが、支部会員だけでなく一般県民参加のコースも織り込んで公益的な寄与もしていく所存です。

今年度は、前年度に引続き分水嶺踏査を始め千葉の里山歩き、懇親会、講演会、他支部との交流等を推進していきます。千葉支部は東京に隣接する支部であることから、首都圏の他支部とも力を合わせ委員会活動など本部への協力も積極的に行っていきたいと考えております。

最後に、支部の運営は支部委員を中心に行っておりますが、すべてボランティアとして時間を割いて頑張ってもらっております。支部会員のみなさまに会の仕事についてぜひご協力、お手伝いをいただきたくお願い申し上げます

ザゼンソウの小倉山

期日：2010年3月22日

参加者 大浦陽子 川越尚子 金子有美子 篠塚紀子 諏訪吉春 高橋琢子 濱村信
廣田和広 三木雄三 山口文嗣 山崎完治 吉永英明 以上12人

春の嵐が吹き抜けて、気持ちよい青空が広がった。中央本線の塩山駅に集合した一行は、タクシーに分乗。一路「ザゼンソウ公園」に向かう。かつては小倉山西側斜面の林間にある何も無い湿原だったが、数年前からザゼンソウの群落地としてすっかり有名になり、「毎年、3月になるとザゼンソウ目当ての観光客がやって来るようになった」と地元の人が話してくれた。

駐車場も整備され、休日には特産の果物などを売る露天なども出て、ちょっとした観光地となっている。

2万5千地形図「塩山」に小倉山への破線はないが、地元の人がハイキング道を整備してくれたおかげで、楽しく歩くことができる。十数年前に歩いたときは「やぶ山」で、おまけに尾根がかちかちに凍ってすってんころり。怖い思いをした。

今回は雪もなく、安心して歩けたが、油断大敵。薄い踏み跡を間違えて、「あれ、違うなあー」と引き返し、どうにか正しいルートに戻ることができたという「おまけ」付き。

日本人なら皆が大好きな富士山はじめ、白根三山、鳳凰三山という南アルプスの巨人たちが純白に輝く衣をまとい自己主張。遠くには聖、悪沢も見えた。愛用のカールツァイス8倍は地藏岳のオベリスクもくっきりとらえた。振り向くと大菩薩、金峰山が

意外なほど大きい。



標高954㍎の小倉山。小粒ながら展望は第1級。記念写真をパチリと写し、シラカバ交じりの雑木林をふもとのザゼンソウ公園へと下る。達磨大師が座禅をする姿だという花を見て、帰りのおまけに塩山の地名ともなった「塩の山」へ立ち寄った。甲府盆地が足下に広がり、御坂の山々が午後3時の光を受けてきれいだった。

気温が上がリ、汗をかいた。駅に近い「塩山温泉」で一風呂あび、「ファー、いい気持ち」。東京駅で盛大な反省会を開いたことは、いうまでもない。

(三木 雄三)

多摩森林科学園散策

期日：4月16日（金）

参加者：篠崎仁 南井英弘 津田麗子 川越尚子 青木一夫 竹島正義

予報によれば、当日は真冬の寒さが関東地区をおそい、曇り時々雨で山間部は雪になる。最高気温は6℃という悪天候にもめげず、JR高尾駅に集まったのは5名（このあと青木さんが合流）。



10時40分出発 天候が思わしくないので、多摩御陵は割愛、多摩森林科学園へと向かう、徒歩10分で到着。早速入場料を払って中に入る、案内板の前でボランティアらしいインストラクターの説明を聞いて遊歩道を進む、休日の日は相当混み合うとのことだが、ウィークデーでこんな天気では来園者もまばら、ゆっくり花見を楽しむことが出来る。

桜というと、ヒガンザクラとかソメイヨ

シノ位しか知らない私は250種類もあり名前も大島桜から雛菊桜、千里香、御衣黄、雨情枝垂、また楊貴妃、鬱金（うこん）なんていうものもあり、桜の花より名前の方に感心してしまう始末

また 桜の種類により開花の時期が異なり、4月上旬より下旬まで、いつ来てもならかの種類の桜が楽しめるとのことだ。もちろんこの園には、桜の木だけでなく、ブナ、ケヤキ、コナラ、カツラ、杉、等が植えられてあり、見事な緑の森林を形成して目を楽しませてくれる。遊歩道は良く整備されており歩きやすく、ゆっくり花をめでなら約1時間20分で園を一周、最後に森の科学館を見学し12時30分森林科学館をあとにする。

高尾駅に戻り 駅前レストランで遅い昼食後解散した。

今回は天候には恵まれなかったが、日本の代表的な「さくら」を充分たんのう、また知識を深めることが出来たのは収穫だった。

（竹島正義）

上高地・徳沢散策ハイキング

期日：2010年5月21日（金）・22日（土）

参加者：竹島正義、渡邊信一、櫻田直克、矢野賢二

上高地徳沢周辺散策ハイキングに参加の集合場所である上高地バスターミナルに12時35分参加者4名が合流しました。私は日本山岳会千葉支部の会友に昨年10月に入会しました。若い頃から山登りが好き

で槍ヶ岳・北穂高岳・奥穂高岳・焼岳・谷川岳など、いくつかの山々の登山をしています。昨年9月船橋市勤労市民センターに於いて羽田栄治先生の山岳講演と山岳映画上映会に参加させて頂き、改めて山登りの

素晴らしさ、厳しさを知り感激しました。早速今年の3月6日の館山市洲崎の房の大山に参加しました。今回の上高地散策も楽しみにしていました。心配していた天気は雲ひとつ無い快晴でした。今夜宿泊場所の山研に荷物を預け、午後到着でしたので明神池までの散策に出発、奥穂高岳を主峰に西穂高岳、前穂高岳、明神岳の残雪がある山々を見ながら、新緑と神秘的な水をたたえた明神池を見て、続いて穂高神社奥宮を参拝し、ウォルターウェストンを案内した嘉門次小屋に立ち寄り、ひっそりと建つ嘉門次の碑を見て、今夜の宿泊場所のJAC上高地山研に到着。夕食時会員の経験豊かな登山談議、世界中の山々の話に熱中して聞き貴重な一夜を過ごしました。翌日の天候は薄曇天気でした。本日の予定コース河童橋から左岸を行き明神・新村橋を渡り対岸の徳沢、明神の右岸散策路である。河童橋からの穂高の眺めは岳沢を正面に穂高連峰を仰ぐと、その景観は雄大で何度見ても素晴らしく感動で深く心に刻まれます。残雪のある素晴らしい眺めを後に、前穂高岳、明神岳を仰ぎ見ながら進み、明神池の横を通過して、明神橋を渡らずに涸沢方面に向かって1時間ほど歩くと梓川にかかる吊橋の

新村橋に着きました。



渡り口の掲示板に揺れるので10m以上の間隔で渡る注意書きがあり間隔を空け渡りました。そこから30分程歩き徳沢園で休憩、甘くて冷たいソフトクリームで一息つく。帰路は薄桃色の山桜、徳沢キャンプ場周辺の草原には一面真っ白なニリンソウの群落が満開で可愛らしく咲き誇り、それは美しく綺麗でした。また小さな川にはマガモやイワナの泳ぐ姿が見えました。昼食は上高地にもどりホテル白樺荘でとり一休みしてから、山研に戻り預けた荷物を持って上高地バスターミナルに着く。今回上高地散策に参加させて頂き、比類なき山々のスケール、大自然の豊かで奥深い姿に大いに感動し、若い頃何回も登山したり、また家族で来た時とは違った感銘をうけました。今回上高地散策に参加させて頂き感謝しております。大変楽しく意義ある山行でした。

(矢野賢二)

房総半島の分水嶺踏査第1回中間報告

房総半島の分水嶺踏査計画は、昨年(2019年)の10月11日に一般公募者も含め百人近い方々の参加を得て、長柄町の六地藏をスタートしました。その後有志の方を中心に今年(2020年)の4月10日までに6回の踏査を実施し、ようやく上総中野駅南西の国道465号の小田代付近まで到達することができました。一部私有地のため立入り出来なかった箇所や歩行困難のため迂回した場所もありますが、現在までの到達距離は全体の約四分の一位でしょうか。計画が一段落したこの機会に今までの踏査の概要の報告をさせていただきます。

なお、詳細な踏査報告書は、一部未完ですが下記URLから開くことが出来るので、ご覧頂ければ幸甚です。

<http://www.asahi-net.or.jp/~DN9N-WTNB/Jac-chiba/Bunsuirei/>

今後の計画ですが、房総半島で標高が低くこれから夏場に向かい暑さが厳しくなること、藪がうるさくなること、ヒルの発生時期になっていることなどを勘案し、9月下旬頃に再開するのがベターではないかと考えます。

第1回目 実施日時 2009年10月11日

参加者 会員18名、会友2名、会員外72名、計92名

踏査区間 六地藏～笠森観音

特記事項 一般公募のためほぼ迂回ルート

第2回目 実施日時 2009年10月25日

参加者 三木雄三、吉野聰、山口文嗣

踏査区間 笠森観音～ユートピア笠森～水沼トンネル南

特記事項 野見金山三角点は大千葉カントリークラブ敷地内のため立入り見合わせ
(後日三木雄三が踏査)

第3回目 実施日時 2009年11月21日

参加者 三木雄三、櫻田直克、岩尾富士夫、山口文嗣

踏査区間 水沼トンネル南～ゴールデンクロスカントリークラブ西馬頭観音

特記事項 概ねゴールデンクロスカントリークラブの西側境界沿い

第4回目 実施日時 2009年12月19日

参加者 櫻田直克、岩尾富士夫、吉野聰、山口文嗣

踏査区間 馬頭観音～羽黒山～米原公民館南造成地

特記事項 米原公民館南の分水嶺上の土地造成地で私有地のため立入りを拒否される

第5回目 実施日時 2010年1月1日

参加者 三木雄三、櫻田直克、高橋正彦、佐藤明夫、岩尾富士夫、吉野聰、井上元、
山口文嗣

踏査区間 米原公民館南造成地～浅間山南～南千葉ゴルフ倶楽部西

特記事項

第6回目 実施日時 2010年2月28日

参加者 三木雄三、櫻田直克、篠崎仁、諏訪吉春、佐藤明夫、結城純一、鈴木美代、
杉本正夫、山口文嗣

踏査区間 南千葉ゴルフ倶楽部西～伊藤大山～棒杭

特記事項 概ね江戸道沿い

第7回目 実施日時 2010年4月10日

参加者 櫻田直克、高橋正彦、佐藤明夫、岩尾富士夫、吉野聰

踏査区間 県道32号切通し～小田代浅間山～国道465号切通し

特記事項 概ね千葉夷隅ゴルフクラブの西側境界沿い

(山口 文嗣)

埼玉支部設立

2010年4月4日、さいたま市民会館おおみやにて埼玉支部の設立総会が開催され全国30番目の支部が誕生した。設立準備にあたって若干のお手伝いをさせていただいたこともあり、こころからのお祝いを申し述べてきた。

埼玉在住会員294人のうち140人が新設支部に入会した。総会は藤本日本山岳会副

会長の祝辞のあと、規約・事業計画・予算案が承認され、初代支部長には石橋正美氏が選任された。これで首都圏には千葉、栃木、茨城、東京多摩、埼玉の5支部が設立された。折に触れ連携を深めてクラブライフの向上につとめたいと考えている。

(篠崎 仁)

国立科学博物館見学のご案内

東京上野公園内の国立科学博物館をガイド付きで見学します。今年は国際生物多様性年で、10月には名古屋でCOP10（生物多様性条約第10回締約国会議）が開催されます。それを承けて「日本の生物多様性とその保全」の展示がされています。

ガイドウォークを約40分、自由見学を1時間、そのあと軽く懇親会を考えています。

日時：7月13日（火）14：00

集合場所：国立科学博物館入り口前（入館しないで外で待ってください。）

常設展示については、満65歳以上は入館料無料、年齢が分かる証明書等を持参して下さい。

申込：必ず下記担当まで申込のこと。ガイドウォークの都合上先着15名で締め切ります。

申込先：

豊倉さと子

篠崎仁

夏のビールパーティー



今年も毎年恒例のビールパーティーを開催いたします。今年は日本一高層の幕張アパホテル（旧幕張プリンスホテル）にておこないます。会場は47階ですので60万ドルの夜景が見られます。会場も広く400席、990㎡もあり幕張ベイエリア随一の夜景と料理・ビールなどフリードリンクで岳友との歓談をお楽しみ下さい。多数の皆様の参加をお待ちしております。なお今回はバイキング形式で一般の方もいますが会話ははずむことでしょう。

日 時 2010年8月21日（土） 午後6時～午後8時
場 所 アパホテル&リゾート東京ベイ幕張・太陽樓47F
千葉市美浜区ひび野2-3：043-298-3530
募集人数 先着30名
交 通 JR京葉線「海浜幕張駅」下車徒歩5分
会 費 4000円（フリードリンク含む）
料 理 中華バイキング・フリードリンク・ソフトドリンク

会費は当日集金しますが、釣銭の用意がありませんので宜しくお願い致します。アパホテルでは地球環境のため食料を大切にしているため、食べ残しますと罰金の徴収となりますので、食べ物を残さないでください。罰金は日本ユニセフ協会に寄付されます。

申込み先 櫻田 直克

申込締日 2010年8月7日（土）

那須岳といで湯の登山山行



今年も昨年に続いて県外の山の登山を計画しました。那須岳に挑戦してみませんか？皆さんもご存知かと思いますが那須岳という山は存在しません。那須岳は五つの山の総称です。皆さんは全部登りましたか。本州では活火山として焼岳、浅間山、那須岳が特に有名です。また火山のお陰で周辺は温泉が7つもあり那須温泉郷として那須湯元を始めランプ宿の三斗小屋温泉など温泉地としても、またも登山口として、家族で楽しめる観光施設や、レジャーランドなど子供からお年寄りまで楽しめるところです。登山もよし、観光もよし、温泉もよしの場所です。皆さんの参加をお待ちしています

登山場所 那須岳

日 時 2010年9月11日(土)～12日(日) 1泊2日

宿 泊 北温泉または三斗小屋温泉

募集人数 先着20名

申込期限 2010年8月20日

交 通 電車・バス 電車は黒磯下車・黒磯からバス各自で切符は購入して下さい

申 込 先 山口 文嗣

岩尾 富士夫

集合場所・時間、登山予定コースなど詳細は後日参加者に連絡いたします。

※登山をしない人は周辺の散策、ロープウェイで茶臼岳展望、温泉でのんびり時間を過す など自由に行動ができますので山に登らない人も参加して下さい。

房総の山深い高宕山・石射太郎



(石射太郎の岩峰)

高宕山に登ると、たかだか標高300mの山とは思えない奥深さが感じられるのはなぜだろうと考えたことがある。

山ひだが幾重にも重なって、まるで「津波」が押し寄せてくるような錯覚さえ覚えてしまう不思議さが、この山にはある。

2万5千円を見ると、「なるほど」とうなずける。主脈となる太い尾根の両側に枝のような細い支尾根が、まるでリアス式海岸のように食い込んでいるのが分かるだろう。

尾根を一本間違えて、迷い込んだら分からないのも、この地形ではうなずける。

朝霧が漂えば、谷津は霧に埋まり、尾根の頭だけが島のように顔を出す。

そうだ。「九十九谷だ」と思いだす光景がそこにはある。

千葉の山の核心部。そんな山を楽しみませんか。

登山場所 高宕山・石射太郎

日 時 2010年10月17日

募集人数 先着20名

交 通 貸切バス

申込期限 2010年9月30日

申 込 先 三木 雄三

佐藤 明夫

集合場所・時間など詳細は後日参加者に連絡いたします。

講演会のご案内

日時：2010年10月24日（日）14：00～15：30

講師：増山 茂 先生

演題：「登山の医学」（仮題）

会場：未定

略歴：1948年富山県生まれ。了徳寺大学健康科学部教授・前学長。世界登山医学会副会長、日本登山医学会会長。呼吸・循環器系が専門。高山病をはじめとした高所医学全般に詳しい。ネパール・ヒマラヤ、チベット、天山山脈、カラコルム、パミール、アンデス、バフィン島などで調査・研究を行なうほか、登山者としても幅広く山を楽しんでいる。

著書：『登山の救急医療ハンドブック』（山と溪谷社、2005）

『登山医学入門』（山と溪谷社、2006）

*講演会の詳細につきましては、次回の『支部だより』12号でお知らせいたします。

お知らせ

★菜の花ジャンパー

支部だより（9号）に掲載の支部ジャンパー（JACロゴ入り）につきましては、沢山のお問い合わせを有難うございました。

残念ながら在庫数が限られており、先着順とさせて頂きました事をお詫び申し上げます。

（津田麗子）

★支部委員会出席のいざない

千葉支部委員会は、原則として毎月第4火曜日18：30～20：30に開催しています。支部活動の企画をはじめ支部運営全般について検討、相談を行っています。委員会はオープンですので支部会員、会友であればどなたでも歓迎します。会終了後は懇談会（飲み会？）に流れるのが通例です。

ぜひお気軽に顔を出してください。なお会場については、市ヶ谷のルームまたは県内の会議室と必ずしも一定ではありませんので事務局にご照会ください。

照会先：

豊倉さと子 諏訪吉春

★千葉支部役員の退任と新任

退任

藤井正善 後藤三男

新任

岩尾富士夫 山口文嗣 鈴木美代 小坂橋志朗

● 編集後記

1ヵ月ぐらい前から左手小指が痺れて、直ぐに治るだろうと思っていたら、会社の同僚から「頸椎の神経かもよ」と脅されMRI検査をしてきました。結果は異常無しで安心しましたが、年齢的に健康には気を使う歳になってしまったんだなとショックを感じました。

（結城純一）